



学校だより

令和元年 9月28日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.500

秋の夜長に思うこと

校長 谷田 弘子

朝晩は、めっきり気温が低くなり、さまざまな所で秋の気配を感じるようになりました。運動会が明日に迫りました。どの学年も演技に磨きがかかり、明日が楽しみです。

今年の運動会は、第50回の記念大会なので、会を盛り上げるためのさまざまな工夫があります。50周年記念のキャラクター入りのTシャツ着用、大きな旗を持つオープニングセレモニーの実施、聖火の工夫、「ぎんなゲートといちょうたゲート」の設置などです。どの学年にも、温かなご声援をよろしくお願いいたします。

運動会が終わると、11月に学芸会があります。各学年ともに夏休み中には台本選びや台本作りを進めてきました。学芸会を実施するには、授業時数を多く取られてしまいます。このまま続けていくべきかという論議も重ねましたが、児童にとって大変意義のある行事であるという認識の上、本校では継続することといたしました。しかし、教科の学習時間を削って進めるわけにはいきません。必要な学習時間を確保した上で行います。内容が減ったり、練習時間が短かったりなどで、一昨年度に比べて、できばえが劣るかも知れません。学習発表の場という位置付けで行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

「もったいない・・・落とし物の話」

保健室の前に、落とし物が長机の上に並べられているのをご覧になったことがあると思います。年に数回、保護者会に合わせて落とし物の展示をすることから始まりましたが、今は一年中飾られています。養護の先生があまりに古いものは処分するようにしています。児童や来校した保護者の方に、発見してもらえるといいな・・・と思ったのです。落とし物

の数は、全然減っていません。むしろ増えつつあります。落とし物の中で一番多いのは、圧倒的にミニタオル、ハンカチの類。次に、マスク、ティッシュと続きます。中には、有名スポーツメーカーのロゴが入ったパーカーもありましたが、何度、子供たちに尋ねても持ち主が現れず、学校で処分したことがあります。

もったいない。名前が書いてあれば、持ち主に返すことができるのに。

「もったいない」にならないように学校に持って来る物には記名をしましょう。落とし物が多くて困るということではなく、「自分の物は自分で管理できる子」になってもらいたい。また、「自分のものを大事にする気持ちを育てたい」という思いがあります。一度わが子のもちもの点検をしてみてもいいがですか？

「昨年に引き続き、読書のすすめ」

あるお母さんから「田二小では毎週1回読書をする時間を設けていますが、うちの子は家で本をほとんど読まないんですよ。」と言われたことがあります。そこで、高学年の何人かの児童に、「家で本を読みますか？」という質問をしました。「ほとんど家で本を読まない」と答えた児童の理由は、「読む時間がない」「読みたい本が家にないから」

「ゲームに時間をかけたい」とのことでした。「読む」と答えた児童は、「家族で読書をする時間を作っている」「1週間に1回、テレビもゲームもダメな日を作って、本を読んでいる。」と答えてくれました。今の子供たちは、やることがいっぱい、読書の時間がとれないのかも知れませんが、読む環境を作ると、読む習慣ができるかも知れません。秋の夜長に、家族で読書タイムはいかがですか。